

役場の人事

【4月1日付】

《採用》

都市整備課Ⅱ本末不比等、立花友里恵、住民課Ⅱ野村真優子、企画政策課Ⅱ入澤侑人、健康・こども課Ⅱ宮田麻里子、環境住宅課Ⅱ山口桃香、福祉課Ⅱ廣戸みなみ、緒方宏徳、税務課Ⅱ村田健弥

《異動》（ ）内は旧所属

総務課長Ⅱ佐竹功（財政課長）、企画政策課長Ⅱ本郷宣昭（健康・こども課長）、財政課長Ⅱ池上亮吉（企画政策課長）、健康・こども課長Ⅱ塩田健司（健康・こども課子育て支援係長）、環境住宅課長Ⅱ新開晴浩（ポートレース事業局事業課長）、ポートレース事業局事業課長Ⅱ横田和雄（議会事務局事務係長）

【3月31日付】

《退職》

廣渡寛佳、宮下いづみ

※係長以下の配置異動などは、町のホームページに掲載しています。

▽問い合わせ 人事係（☎2223

・3574）

新人職員紹介



住民課
野村 真優子

1日でも早く仕事を覚え、町民の皆さんの役に立てるように精一杯努めていきます。よろしくお願ひします。



都市整備課
立花 友里恵

芦屋町の皆さんに寄り添って業務に携わってまいります。日々精進してまいりますのでよろしくお願ひします。



都市整備課
本末 不比等

不慣れな点があると思いますが、業務内容を覚えて即戦力となるよう頑張ります。よろしくお願ひします。



環境住宅課
山口 桃香

与えられた仕事を丁寧に確実にこなし、1日でも早く戦力になれるように頑張ります。よろしくお願ひします。



健康・こども課
宮田 麻里子

1日でも早く仕事を覚えて、町民の皆さんの力になれるように精一杯頑張ります。よろしくお願ひします。



企画政策課
入澤 侑人

芦屋町の皆さんに寄り添う気持ちを忘れず、丁寧にスピード感を持って仕事に取り組みます。よろしくお願ひします。



税務課
村田 健弥

業務に真剣に取り組み、町民の皆さんを笑顔にできるような考え、行動します。よろしくお願ひします。



福祉課
緒方 宏徳

社会福祉士として、いち早く専門的な分野で皆さんの力になれるよう頑張ります。よろしくお願ひします。



福祉課
廣戸 みなみ

皆さんが安心して相談できるようにみな職員を目指します。よりよい町づくりに貢献できるように頑張ります。

芦屋歴史紀行

その三百三十六

あしや歴史探訪

月軒遺跡の再評価①

東アジアの動乱
百済滅亡と白村江の戦い

今回は、東アジアの話から始まり、芦屋の歴史へとつながっていきます。

紀元前2世紀頃、漢の武帝が朝鮮を攻略して楽浪郡を置き、直轄領とします。しかし、漢や魏、その後の晋が衰退してくると、313年に高句麗が楽浪郡を攻略し、中国による朝鮮支配は終わりました。この頃から朝鮮半島は、高句麗、百済、新羅の三国時代へと移っていきます。日本は、4世紀頃から朝鮮半島へ出兵を繰り返していたようで、任那・伽耶といった地域を影響下に置いたこともあったようです。この三国鼎立状態は、外部の力が影響しやすいものの、当時の日本（まだ倭と名乗っていたようですが）は、外交的にも文化的にも未熟で、東アジアの国際関係を十分に理解・掌握した行動をとることができませんでした。

▷法隆寺 百済観音



その中で、日本に接近してきたのが百済でした。軍事的には高句麗が強く、百済は南へ遷都を繰り返しながら存続していました。百済は、中国南朝との貿易を核とする貿易国で、中国の仏教を含めた最新の文物や大陸文化を日本へもたらす親日の国だったので、618年唐が興り、645年唐の太宗（李世民）が高句麗討伐を行います。続けて、唐と新羅の連合軍が百済の首都扶余を落とし、国としての百済は滅亡します。

その後、百済の残党による百済復興運動が始まります。この残党から、「当時日本に滞在していた旧百済皇子、余豊璋を返してほしい。彼を中心に国を再建する。については援軍も欲しい」との要請が大和王権に届きます。大和王権の斉明天皇、中大兄皇子は戦後の権益を想定してか、これに賛同し、遠征軍が結成されるにいたります。天皇も皇子も九州入りし、大宰府の南方に位置する朝倉広庭宮が開かれます。遠征には2万7000人の大軍をもって臨み、朝鮮半島西側に位置する錦江河口の白村江にて唐・新羅連合軍と戦い、悲惨な敗戦を迎えることとなります。



△7世紀の韓半島

敗戦理由ですが、白村江における倭国軍の実態は、国造軍（地方豪族が率いる軍）が集まった混合軍であるため、統制がとれなかったことが挙げられます。当時の倭国軍は、何度も朝鮮半島への出兵を経験していることから、必ずしも動員や兵站の面で未経験ではなかったのですが、指揮系統の未確立・慣れない組織戦・戦術構成が全くないなどの理由により、唐・新羅連合軍に圧倒されました。『日本書紀』には、「日本の諸將は気象を知らず」と記録があります。現地の気象・潮の流れ・地形を調べることなく、倭国軍は戦いに突入したようです。さらには、倭国軍が、「われら先を争わば、彼まさに自ずから引くべし（手柄を立てるべく競って行けば、彼らは蜘蛛の子を散らすように逃げ出すであろう）」と発言していたという記録があります。つまり、対戦相手の実情も知らず、作戦もなしで倭国軍は戦いに臨んだのでした。その結果、「ときのまに官軍敗れん」と記録があるように、あつという間に歴史的大敗北を喫しました。

（芦屋歴史の里）

編集後記

▼4月から機構改革で、広報情報係からシティブロモーション係に名称が変わりました。新しい係名に慣れていないので、電話で昔の係名を言ってしまうようになりま。皆さんも新しい係名、シティブロモーション係を覚えてほしいです。（手塚）

▼町ですてきな話を聞かせてもらったので、皆さんにお伝えします。「私は85歳のおばあちゃんです。ある日のこと、私は通院や買い物などで、朝早くから午後3時まで歩き続けてへとへとでした。私の手すりを持って休んでいたら、近くで遊んでいた子どもたちが気付き、声をかけてくれたんです。一人は手を取り荷物を持ってくれ、もう一人は猛ダッシュでエレベーターを呼びにいつてくれました。聞くところ、まだ小学1〜3年生のこと。疲れも吹き飛ば、うれしうできごとでした。ありがとう」と話していました。話を聞いた私も、その日一日ほっこりした気持ちで過ごしました。（野中）

▼今年の4月より異動してきました篠塚です。前部署では主にあしや砂像展などの町内イベントを担当していました。イベントの魅力などを紹介して、町民の皆さんが町の魅力を伝えたいかなるような広報にしていけたらと考えています。（篠塚）

